

てんぱくプレーパークの会 [まち“夢” 工事部門] 活動視察

●日 時：平成26年02月21日（金） 10:00～11:00

●場 所：天白区 天白公園内

【てんぱくプレーパークの会について】

てんぱくプレーパークは天白公園の冒険の山の一角にあり、子どもの「やってみたい」という気持ちを大切に誰でも利用できる遊び場です。

合言葉は「けがと弁当は自分もち」で工具を使っての工作や、こま回し、火おこし&べっこう飴づくりなど、子どもたちは思い思いに自分のしたいことをして過ごします。

そしてその子どもの立場に立つ大人である「プレーリーダー」が常駐し子どもたちの安全を見守っています。最近は遠方からの家族連れや高齢者なども訪れる場所になっています。そんなプレーパークのプレーリーダーを雇用し、安全で楽しい空間を運営しています。

【活動の様子】

まだまだ肌寒い2月21日（金）に完成間近のてんぱくプレーパークの小屋を視察に行ってきました。



完成間近の小屋。明るい木のぬくもりが感じられます。

平日の午前中のためか、子どもたちはいませんでしたが、プレーパークには小さなお子さんを連れたお母さんが焚火をしていました。

その横で小屋の設計をされた建築士の方に説明を伺うことができました。

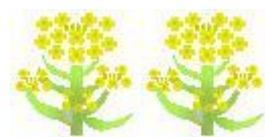


小屋の設計や建築の苦労話も聞かせていただきました。

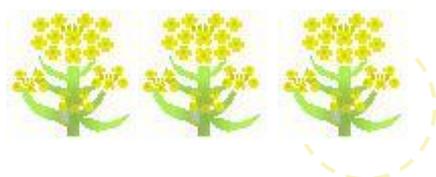
緑豊かな公園の景観を損なわないように工夫された木の小屋です。



公園の風景に
明るい茶色の
小屋が自然に
溶け込んでいます。



公園の水辺にはサギがいました。



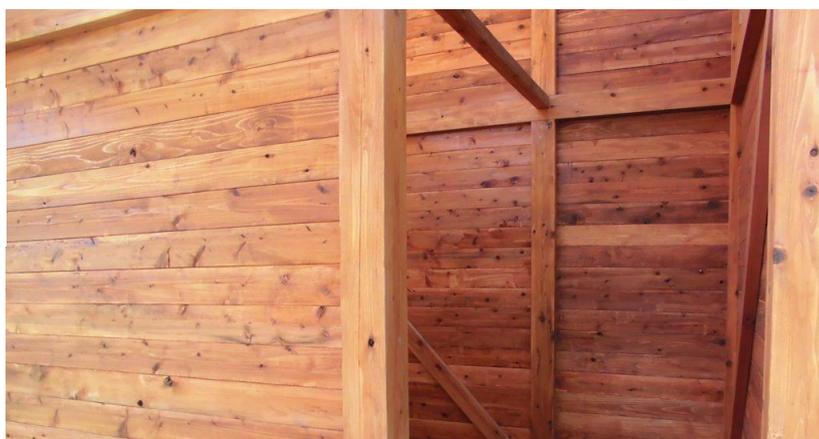
低い方の屋根からは子供が登ったり、飛び降りたりできるように考えられています。



小屋の片側は、扉が取り付けられる予定で、お母さんが赤ちゃんのおむつ替えや授乳もできる工夫がされています。



小屋は暖かい自然の木目が美しく、木の香りがしていました。



単に物置としてではなく、子供たちが登ったり飛び降りたり、おむつ替えなど様々な用途で利用できる小部屋があったり、公園の遊び場にふさわしい温かみと工夫のある木の小屋でした。この小屋によってまた、新たなる交流と笑顔が生まれることを期待しています。



みるくの感想

てんぱくプレーパーク。天白公園の中で子どもたちの創造力が思う存分発揮される場が、そこにはありました。

ここに集まる子どもたちが、小屋の設計段階から、ああしたいこうしたいと夢を語り、施工段階でも、基礎工事に参加したり、柱や壁板に塗料をみんなで塗ったりしたことは、自分たちが造ってきた小屋として、ずっと大切にしていけるのだろうと感じました。構想作成、設計、施工に携わることは、参加した子どもたちにとって、一生心に残る貴重な体験であったことでしょう。

携われた多くの方々の並々ならぬ努力に敬意を表したいと思います。そして、ここで培ったことが、大きく育っていくことを楽しみにしています。



ぴよんちゃんの感想

自然がたくさんある天白公園を歩いていくとふっと目に付く明るい茶色の小屋。

幼い頃に読んだ憧れの冒険童話を思い出しました。

下町育ちのわたしは、あまり自然の多い公園で遊んだ機会がないので、自然の中で火を使ったり、トンカチを使ったりする遊びができるこの場所がとても新鮮で、こんな場所で遊んべる子どもたちが羨ましくもありました。

そんな空間には、温かみのある木の小屋がとてもマッチしているように思いました。

完成後のこの小屋の周りで、たくさんの笑い声が聞こえてくるのが想像できました。